

松戸市民児協だより

愛のつばさ

2017/10
No.55

編集と発行＝千葉県松戸市民生委員児童委員協議会（松戸市役所地域福祉課 047-366-3019）

〔年2回発行〕

さらなる 一歩



民生委員一〇〇年のあゆみ
松戸市民生委員七〇年のあゆみ



100周年記念全国大会



松戸市民児協全体研修会



昭和10年頃の水戸街道 春雨橋付近



昭和28年頃の松戸駅駅舎



昭和29年の北小金駅



開設当時の新京成線 上本郷駅



昭和36年頃の六実駅

- 民生委員制度100年のあゆみ
大会宣言文
全国100年のあゆみ
松戸市70年のあゆみ
民生委員児童委員信条／児童憲章 前文
- 松戸市民児協18地区民児協紹介
- 民生委員100周年記念式典
- 平成29年度全体研修会
- 平成29年度総会報告
- あらたに民生委員・児童委員になって
新広報委員紹介・編集後記

民生委員制度 100 年のあゆみ



民生委員制度創設百周年記念

大会宣言

- 一、「民生委員児童委員信条」を胸に、常に地域住民の立場に立つた活動を行います
- 一、地域共生社会の実現に向けて、地域のつながり、地域の力を高めるために取り組みます
- 一、さまざまな課題を抱えた人びとを支えるために、幅広い関係者、関係機関との連携・協働を一層進めます
- 一、我が国の未来を担う子供たちが健やかに育つことができるよう、子育てを応援する地域づくりに取り組みます
- 一、民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくため、住民にとってより身近な存在となるよう周知活動に取り組み、その理解を広げます

全国民生委員児童委員大会
平成二十九年七月九日

全国のあゆみ

- 6年 岡山県(笠井信一県知事)5/12 済世顧問制度の誕生
- 7年 大阪府(林市蔵府知事)方面委員制度の誕生～全国に普及
- 4年 新公約救済制度「救護法」の公布
- 7年 「救護法」実施・全日本方面委員連盟の発会式
- 8年 「児童虐待防止法」「少年救護法」公布
- 11年 「方面委員令」の公布 全国統一制度に
- 12年 「母子保護法」公布
- 13年 社会事業法公布(民間社会事業への助成への道を開く)厚生省設置
- 21年 「民生委員令」公布 全国方面委員から全国民生委員へ改称
- 23年 「民生委員法」公布・施行
- 25年 新生活保護法
- 26年 社会福祉事業法公布・児童憲章制定・民生委員信条制定
- 29年 民生委員・児童委員協議会を組織
- 32年 社会を明るくする運動実施 低所得者「医療貸付制度」開始
- 34年 第1回民生委員全国集会開催
- 36年 国民皆保険・皆年金制度の発足「世帯更生運動」から「幸せを高める運動」
- 38年 「老人福祉法」公布
- 39年 「母子・寡婦福祉法」施行
- 42年 済世会顧問制度 50周年
- 45年 「心身障害者対策基本法」公布・施行
- 46年 「児童手当法」施行
- 47年 世帯更生資金に「福祉資金」新設
- 48年 「老人医療無料化」制度実施
- 52年 「民生委員の日」制定(全民児協)老人介護の実施調査 都市型特養構想
- 56年 障害者の日「12月9日」決定
- 57年 「老人保護法」公布「障害者対策長期計画」の作成
- 59年 「社会福祉・医療事業法」公布
- 60年 「児童扶養手当法」成立「いじめ」相談活動の充実
- 63年 「社会福祉士・介護福祉士法」成立
- 元年 全国民生委員・児童委員連合会に改称
- 6年 主任児童委員制度創設
- 7年 民生委員・児童委員信条に改正
- 9年 80周年活動強化方策を策定
- 12年 民生委員法改正
- 17年 障害者自立支援法成立
- 19年 民生委員制度創設90周年
- 23年 東日本大震災発生
- 26年 民生委員・児童委員活動保険創設
- 28年 熊本地震発生
- 29 民生委員制度創設100周年・児童委員制度創設70周年
- 8年 相模台に陸軍工兵学校開設
- 5年 流山～馬橋に流山鉄道開通

和

- 2年 松戸市国際交流協会設立
- 5年 文化会館「森のホール」開館
- 6年 松戸市高齢者保健福祉計画策定
- 7年 民児協会長に清水保久氏就任
- 10年 松戸市健康福祉会館(ふれあい22)開館
- 13年 民児協会長に 酒井昭氏就任
- 15年 松戸市市民活動サポートセンターオープン
- 16年 民児協会長に田中周瑞氏就任
- 17年 包括支援センター設立
- 19年 民児協会長に 文入加代子女史就任
- 22年 民児協会長に 平川茂光氏就任
- 28年 松戸市民生委員創設 70 周年
- 29年 地域包括支援センター 15ヶ所に増設
- 2年 松戸市少年センター開設
- 42年 松戸市市民生・児童委員協議会規約制定
- 43年 民児協会長に中台隆治氏就任
- 44年 松本清市長すぐやる課誕生／松戸市保育手当支給
- 45年 松戸市民生・児童委員協議会規約制定
- 46年 松戸市母子保健推進制度・遺児手当支給開始
- 48年 松戸市役所ながいき課・おせわ課・しあわせ課
- 51年 総合福祉会館・青少年会館馬橋開設
- 52年 民児協会長に小山清氏就任
- 55年 松戸市災害見舞金支給開始「あおぞら号」運営
- 56年 松戸市民児協3部会構成・婦人児童・老人・身障者対策部会
- 57年 民児協会長に佐藤晃氏就任
- 58年 松戸市福祉タクシー利用開始
- 59年 「愛の小鳩」創刊／火災警報貸与事業開始／「世界平和都市」宣言
- 62年 ディサービスの開始
- 63年 父子家庭医療費扶助開始
- 29 民生委員制度創設100周年・児童委員制度創設70周年
- 13年 児童福祉法改正・主任児童委員複数配置化実現
- 12年 民生委員法改正
- 9年 80周年活動強化方策を策定
- 7年 民生委員・児童委員信条に改正
- 6年 主任児童委員制度創設
- 元年 全国民生委員・児童委員連合会に改称
- 63年 「社会福祉士・介護福祉士法」成立
- 60年 「児童扶養手当法」成立「いじめ」相談活動の充実
- 59年 「社会福祉・医療事業法」公布
- 57年 「老人保護法」公布「障害者対策長期計画」の作成
- 56年 障害者の日「12月9日」決定
- 52年 「民生委員の日」制定(全民児協)老人介護の実施調査 都市型特養構想
- 48年 「老人医療無料化」制度実施
- 47年 世帯更生資金に「福祉資金」新設
- 46年 「児童手当法」施行
- 45年 「心身障害者対策基本法」公布・施行
- 42年 済世会顧問制度 50周年
- 39年 「母子・寡婦福祉法」施行
- 38年 「老人福祉法」公布
- 36年 国民皆保険・皆年金制度の発足「世帯更生運動」から「幸せを高める運動」
- 34年 第1回民生委員全国集会開催
- 32年 社会を明るくする運動実施 低所得者「医療貸付制度」開始
- 29年 民生委員・児童委員協議会を組織
- 26年 社会福祉事業法公布・児童憲章制定・民生委員信条制定
- 25年 新生活保護法
- 23年 「民生委員法」公布・施行
- 21年 「民生委員令」公布 全国方面委員から全国民生委員へ改称
- 13年 社会事業法公布(民間社会事業への助成への道を開く)厚生省設置
- 12年 「母子保護法」公布
- 11年 「方面委員令」の公布 全国統一制度に
- 8年 「児童虐待防止法」「少年救護法」公布
- 7年 「救護法」実施・全日本方面委員連盟の発会式
- 4年 新公約救済制度「救護法」の公布
- 7年 大阪府(林市蔵府知事)方面委員制度の誕生～全国に普及
- 6年 岡山県(笠井信一県知事)5/12 済世顧問制度の誕生

松戸市のあゆみ

民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます

一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます

一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自主の援助に努めます

一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます

一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます

児童憲章 前文

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める

児童は、人として尊ばれる

児童は、社会の一員として重んぜられる

児童は、よい環境のなかで育てられる



新松戸地区 37名 会長 福岡直樹
今日を紡ぎ 明日へ繋ぐ



馬橋西地区 23名 会長 富田久美子
あいさつの 笑顔がつくる 福祉の輪



明第四地区 32名 会長 鈴木艶
ひとりでも 住み良い地域 あきらよん



松戸地区 37名 会長 小島可代子
見守りを 心で繋ぐ福祉の輪



矢切地区 28名 会長 竹内恵子
やささで 結ぶ人の輪 地域の和



小金北部地区 21名 会長 小野順子
福祉の輪 笑顔でつくる 小金北



小金南部地区 25名 会長 若林桂子
お互いさと 言える笑顔の 支えあい



明第二地区 35名 会長 中村勲人
和を以って 心をつなぐ 地域の安心

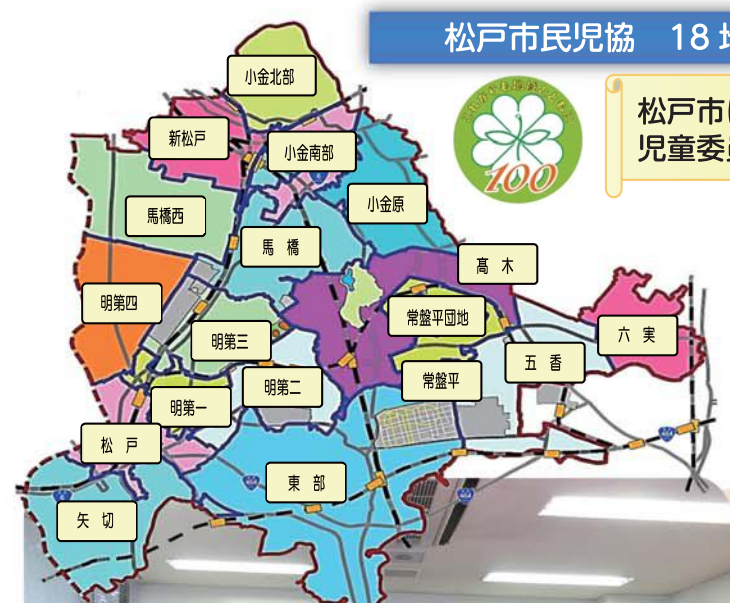


明第三地区 30名 会長 平川茂光
共に手を携え合う 福祉の心



明第一地区 30名 会長 池田将男
常に明るく・わきあいあい

民生委員・児童委員、主任児童委員は地域の身近な相談相手です。



松戸市民児協 18 地区民児協紹介 ★おかげさまで 100 周年！★



松戸市は 540 人（内、主任児童委員は 36 人）の民生委員・児童委員が 18 地区で活動しています。（全国では 23 万人）



馬橋地区 38名 会長 荻野禎子
馬橋地区 多くの愛で 見守る目



五香地区 36名 会長 岩本榮輔
地域力 みんなで結ぶ 思いやり



東部地区 30名 会長 梶原栄治
困ったときにまず一言 そんなときのお手伝い 一緒に力をあわせましょう



小金原地区 30名 会長 向田和雄
真心を 重ねて紡ぐ 永遠なる福祉



高木地区 36名 会長 西川繁子
学びあい 見守る地域 しあわせに



常盤平団地地区 18名 会長 廣瀬昌知
安心と 笑顔あふれる 街づくり



常盤平地区 25名 会長 亀澤初見
和みあう 人と人との 結びつき



六実地区 28名 会長 澁谷正行
むつまじい 笑顔育む 地域活動



民生委員制度創設百周年記念

全国民生委員児童委員大会

7月9日天皇皇后両陛下のご臨席のもと民生委員制度創設百周年記念全国民生委員児童委員大会の式典が東京ビッグサイトで開かれました。

大正六年、岡山県で創設された済世顧問制度から始まり、終戦後、民生委員制度と改称され今年百周年をむかえました。

当初は人びとの防貧をめざし、時代とともに社会の変化に直面する生活課題の解決を民生委員の活動としてまいりました。しかも、いつの時代にあっても、「良き隣人」として人々に寄り

添い、身近な相談相手となり、行政などへのつなぎ役となってきました。そうした活動が人々の信頼を得て、民生委員制度は社会に根付いてきました。

更に、全国の民生委員の力を結集した「モニター調査活動」が社会の見えづらいつ課題を明らかにし、支援制度創設を行政に働きかけ、社会福祉制度の

充実に貢献してきました。

戦後は世帯更生運動、心豊かな子どもを育てる運動をはじめ、委員が先頭に立つて、より良い社会づくり、福祉のまちづくりに取り組んでおります。

今日、少子・高齢化社会の中で様々な課題が生まれています。相次ぐ大規模災害の被災者を含め地域での厳しい状況を解決していくために、地域住民自ら積極的に参加し支え合う「共生社会」をめざす担い手として民生委員は期待されております。

「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会」の実現にむけ、新たな決意をもって参りたいと思います。

民生委員制度創設百周年記念
「大会宣言」より

大会スローガン

支え合う 住みよい社会 地域から

記念講演会

鎌田 医師

式典終了後、諏訪中央病院名誉院長の鎌田実医師から記念講演がありました。「あたたい社会をつくる」という演題で、障害を負った人に対して周囲から食事の世話をするという行為が170万年前からあったというケニアのトゥルカナ婦人の話から始まり、

民生委員制度創設

一〇〇周年記念講演会



6月25日松戸市民会館で29年度松戸市民児協の全体研修会が開催されました。平川会長の挨拶に続き、本郷谷市長から民生委員の活動の労いと感謝の言葉をいただきました。とりわけ民生委員活動が市の福祉行政にとり必要であることを説明されました。

今回の研修は全国民生委員制度百周年行事が7月にあり、元松戸市助役・厚労省社会援護局長等を歴任した石井淳子氏の記念講演になりました。「これからも地域とともに！」のテーマを掲げ次のように話されました。

民生委員の一言が人の生き方を変えることもあるし、何よりも相手の身になることが大切なスタンスであること、そしてボランティアなど誰かのために生きることで

幸せホルモンのオキシトシンが分泌され、幸せを感じ、高血圧などのリスクも減少



鎌田 実医師

- 一、民生委員の存在と活動・位置づけを地域に発信しよう。
- 一、地域の諸問題の発見者であり行政のつなぎ役となり主体的に協働して動こう。
- 一、存分に力を発揮できる環境整備（人材・サービス等を創り出そう）と唱え、公共福祉が地域の現場で生かされることとして、松戸市では高齢者・障害者・子育て世代・子ども達の交流や社会参加で共生社会をめざして、安心して住み続けるまちづくりと大好きな地域づくりをすすめています。
- 地域により「我が事・丸ごと」をフリーズにおせいかいおばさんや配食サービス・子ども食堂や学習支援の取り組みなどを実施して、孤立・無縁社会のひずみを少しでも減らそうと努めております。「隣近所・地域で顔のわかるアプローチを続けています」と締めくくられました。

することなどのお話があり、私たち民生委員に対してたくさんの方のエールをいただきました。

最後に、手を差し伸べる自由は誰でも持ち「俺、お前のこと分かっているからな」の一言で救える命もあることを例に挙げられ「日本が希望を語ることのできる国になるように、皆さんの活躍に期待したい」と締めてくださいました。



ビックサイト会場前・18名理事

民児協理事会・役員構成

[illegible]

各部会等代表者

高齢者部会 星野進 (高木)
 児童部会 本健治 (小金原)
 援護部会 山井逸郎 (常盤平)
 広報委員会 高木將昌 (明第四)
 主任児童委員連絡会 松崎律子 (明第一)
 防災・災害対策連絡会 鈴木利夫 (明第三)

厚生労働大臣

特別表彰受賞

昨年12月の一斉改選で退任された民生委員・児童委員に対して、永年の功労を讃え厚生労働大臣より特別表彰が平成28年11月30日付けで授与されました（授与式はなし）。

私たち民生委員・児童委員の先輩として感謝とお喜び申し上げます。

なお、今後も皆様のご健勝を願っております。

◆民生委員として在職期間が19年6ヶ月以上の方

・岩田 映子 (明第二) ・久保せつ子 (高 木)
・丸山 睦子 (小金北) ・下久保俊一 (小金南)

◆退職時 75 歳以上、在職期間 14 年 6 ヶ月以上の方

- ・青木 菊子 (明第一)
- ・榎本 好昭 (馬 橋)
- ・高城 勝人 (小金北)
- ・中村 正一 (松 戸)
- ・渡辺 隆夫 (矢 切)
- ・梅津 好弘 (常盤平)
- ・砂川 咲子 (明第四)
- ・滝 紀代子 (明第四)
- ・新居 稔 (新松戸)

平成29年度総会報告

平成29年度松戸市民生委員児童委員協議会総会が市民劇場にて、松戸市長はじめ市議会議長、市社会福祉協議会会長、市の関係者等多数ご参列のもと本年4月19日に開催されました。

議事に先立って、55名の方が永年の功労を讃えられ、その後の議事では、28年度事業報告、29年度事業計画案、会計予算案等、全てが承認、可決されました。

また、開会冒頭の平川会長の挨拶では、以下のような今年度の活動方針が示されました。

◆災害時に備えた活動と個人情報
管理の強化と推進
①情報収集を強化・推進し、行政・関
係団体との連携を強化し、支援対象者の二

② 部会活動や研修講演会等、知識見識を習得する機会を作り、技術向上に努める。

③ 「できること、できないこと」を明確にし、行政や関係団体等と連携協働を強固にして、地域福祉、社会福祉の両面において活動を推進する。



松戸市民児協理事会と

三部会等代表との

懇談会開催

昨年の一斉改選後、新規に就任された理事（各地区会長）の方々、各部会等の代表が今年5月一同に集まり、今期の松戸市民生委員児童委員活動について懇談会が行われました。

理事会、各部会などの懇談会は、松戸市民児協の活性化、協調を目的とし、理事会との意見交換を交え、各部会などが抱える問題点や要望などを自由に語り合えたことはこれからの組織運営に大変有意義な会合でした。

年齢要件についての改訂

(1) 民生委員・児童委員(区域担当)

	平成 29 年 8 月委嘱分から	平成29年4月委嘱分まで
新任	原則75歳未満 ただし、地域の実情に よって78歳未満 (新任については、72歳未満 の者の選出に努めること)	75 歳未満 ただし、72 歳未満の者の 選出に努めること
再任		75 歳未満

(2) 主任兒童委員

	平成 29 年 8 月委嘱分から	平成29年4月委嘱分まで
新任	原則 55 歳未満 ただし、地域の実情に応じ 65歳未満	原則 55 歳未満 ただし、地域の実情に応じ 62歳未満
再任	原則 55 歳未満 ただし、地域の実情に応じ 68歳未満	原則 55 歳未満 ただし、地域の実情に応じ 65歳未満

※ 1、適用年月日・平成 29 年 4 月 1 日

※ 2、年齢については通年4月、8月、12月の各月1日(委嘱日)現在



あらたに民生委員・ 児童委員になって



母の介護支援に感謝して

私は、母の病気などの家庭の諸事情により、今までは仕事を優先し、社会的な活動はほとんどできませんでした。40年にわたる日常生活の中でいただいたご厚情やご支援に対し少しでもお返しできたらと、また町会長からの再三の依頼を受けたこともあり、お引き受けいたしました。

そして最初に感じたことは、民生委員の仕事がこれまで私が思っていたこととは異なる仕事だということでした。一人で完結できることはほとんどなく、市や社協、包括支援センターなどと連携し行政と住民を「よりよく繋いでいく」ためのアシスタント役を努めることが重要だと認識しました。

どこまで住民に寄り添えばよいのか非情に難しいと悩んでいます。事情によつては、踏み込んではいけない問題もあり、地区会長の指示を受けながら半年活動しました。まだ何もわかっていないけど住民の方々に少しでも役に立つことができたかと考えながら、まず任期3年間をしっかりと活動していきたいと思います。(小金北・一子)

後悔！でも少しずつ「らっく」

平成28年12月1日、民生委員の委嘱状を受け取りました。今日から私たちは『民生・児童委員』です。

でも…民生委員ってなに？私たちは何をすればいいの？あまりにも知識不足のまま引き受けてしまった大役に早くも後悔が頭をよぎりました。

先輩たちは「大丈夫！やっているうちにわかるから」と。研修会や定例会ではわからない言葉が飛び交っています。見守り？包括？配食？ハイリスク？何もわからないまま活動は始まってしまいました。

そして半年…配食をしたり、ふれあい会食やいきいきサロンに参加したり、一人暮らしの高齢者を訪ねたり、市役所からの書類を作成したり、相談を受け市役所や包括に繋いだり、気づいたら手探りで何かが始まっていました。最近では、高齢者の方やその家族に「頼りにしています。よろしく」とか、配食の都度、「いつも美味しいお弁当をありがとう」と言われました。そんな言葉を励みにこのまま続けていけたらと思います。(明第4・X子)

民生委員を務めることは

民生委員となり様々な活動に携わってみて驚いたこと、それは活動範囲が多岐にわたることでした。さらに活動の中で事例を的確に判断し、次の行動へと繋げてゆく先輩方のフットワークの見事さは目をみはるものでした。地域の方々が少しでも安心して生活を送れるように常にアンテナをかけた、関係する機関や窓口へ橋渡しをすることが大切な役割であろうと感じています。人が相手である活動です。自分ではよかれと思って行動したことも、望まれないことの押し付けにならないように少し下がった位置で寄り添いたいと思っています。

そしてご自分で意思決定をするための情報を提供できるよう、常に新しい情報を学び、今までの経験も大切に、活用できるように成長できたら幸いです。

民生委員としてスタートをきったばかり。活動を通して一つ一つ確認の日々です。仲間である皆様方と情報を共有し、独りよがりの活動に陥らないよう任期を務められたらと思っています。

(馬橋・〇子)

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

日暮 セイ子様(享年73歳)

高木地区 平成28年11月28日

斎藤 とも子様(享年73歳)

松戸地区 平成28年12月13日

新広報委員紹介

松戸地区	明第一地区	明第二地区	明第三地区	明第四地区	矢切地区	東部地区	馬橋地区	馬橋西地区	新松戸地区	高木地区	常盤平地区	常盤平団地地区	五香地区	六実地区	小金北部地区	小金南部地区	小金原地区	六実地区	高木地区
峯岸 真理	菊地 武通	小森 聡子	永田 久子	高木 将晶	河原田 みゆき	村岡 洋子	幸坂 仁実	佐々木 裕勤	宮城 肇	稲垣 寅一	斎藤 勝敏	伊東 修	芹澤 満	二葉 綱夫	安達 里季	浅井 健弘	澁谷 正行	西川 繁子	

編集後記

一斉改選・民生委員制度100周年と大きな節目の年、各地区から新たに選任された18名が3年間一緒に広報誌《愛の小鳩》の編集に携わる事になりました。

重責と不安のなか、『さらなる一歩』を今期(3年間)のテーマに掲げ、第55号発行に向け取材・編集・校正と委員全員が日頃の民生委員活動がある中頑張ってくれました。

長い歴史の中、先輩方が築き上げた民生委員活動に「さらなる一歩」を踏み出せる手助けができる様な広報誌作りに、広報委員全員が努力をしています。

広報委員長 高木 将晶